

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	社会資本整備総合交付金事業(天龍峡地区) (旧:天龍峡まちづくり交付金事業)	会計	一般会計	事業No.	466	施策順No.	11-039
		事業種別	政策・重点	予算科目	7-1-4-14-9		
政策	1 多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり	課等名			観光課		
施策	11 事業者自らが実施するパワーアップ活動	事業期間	開始	21	終了	25	

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	天龍峡の観光客						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	天龍峡の観光客・人	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
	意図	より多く滞在してもらう						
	対象をどう変えるか	天龍峡の観光消費額 (天龍峡の宿泊施設及び土産店の売上合計)・千円	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	
								B
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】		文化財保護の観点を第一として、来訪する多くの観光客の安全性、便益性等の向上を目指した整備を行った。						

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	「天龍峡再生プログラム」及び「名勝天龍峡保存管理計画・整備計画」に基づき、天龍峡がもつ資源を活かした施設整備並びにそれらの効果を高めるための事業を行うことにより、天龍峡の活性化を図る。 ①遊歩道、公園、渓谷景観等の整備 ②まちなみ整備(統一したイメージの景観づくり) ③ガイドンス施設等の整備 ④誘客企画の実施		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 公園事業 2 緑地・広場整備事業 3 地域創造支援事業(天龍峡景観保全対策事業、天龍峡安全管理対策事業、天龍峡桜誘客整備、地域産業活用賑わい創出事業) 4 天龍峡再生マネージャー委託事業	1 整備箇所 2 整備箇所 3 実施数 4 実施数	1 1カ所 2 3カ所 3 1式 4 1式
	23年度実施計画	1 道路整備事業(調査設計) 2 公園整備事業 3 緑地・広場整備事業(調査設計) 4 天龍峡温泉交流館整備事業 5 駅前商店・絶景旅館等再生事業 6 地域創造支援事業(天龍峡景観保全対策事業、天龍峡安全管理対策事業、天龍峡桜誘客整備、地域産業活用賑わい創出事業) 7 天龍峡再生マネージャー委託事業	1 整備箇所 2 整備箇所 3 整備箇所 4 整備箇所 5 整備箇所 6 実施数 7 実施数

3 事業コスト

事業費	特定財源	国庫支出金	32,718	32,718	15,000	特定財源内訳、補足事項 (国)まちづくり交付金事業(57.5%) (地)合併特例債(95%) (そ)繰越金 977千円 21→22 繰越明許 29,295千円 22→23 繰越明許 17,955千円
	起債	37,600	25,900	13,000		
一般財源	計(A)	85,295	66,679	38,000		
正規職員所要時間			1,000			
臨時職員等所要時間						
人件費計(B)			3,576			
トータルコスト A+B			70,255			

4 事業に対する市民や議会の意見

かつての賑やかな観光地再生へ向けた「天龍峡再生プログラム・プロジェクト」、「名勝天龍峡保存管理計画」及び「名勝天龍峡整備計画」の計画的な実施が求められている。

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	事業者等が出荷額等を高める活動をする	施策の成果指標又はムトス指標	観光消費額(億円) 経済自立度(%)
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	天龍峡が最も元気であった百年前への回帰を目指す「天龍峡再生プログラム・プロジェクト」、名勝天龍峡の適切な保護を目指す「名勝天龍峡整備計画」に基づき、天龍峡の魅力を高めるための整備事業を行った。		
	後期に向けた課題	2つの計画に基づいた整備事業を、適切に実施していく必要がある。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をしてきましたか	4年間の振り返り	指導機関や地元、関係行政との十分な検討を行った上で実施した。		
	後期に向けた課題	指導機関や地元、関係行政との十分な検討や連携、調査研究を行った上で、適切に実施していく必要がある。		
コストを削減するためにどのような工夫をしてきましたか	4年間の振り返り	条件の良い別の補助制度の導入が可能となったことから、振換え可能な事業を別の補助事業(国宝重要文化財等保存整備費補助金)へ振換えた。		
	後期に向けた課題	天龍峡の整備(ハード・ソフト共に)については、国等補助制度の動向を注視し、条件のよい導入可能な補助制度を随時検討していく必要がある。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	「天龍峡再生プログラム・プロジェクト」、「名勝天龍峡整備計画」に記された行政の役割を果たすため、市の関与する程度は適切である。		
	後期に向けた課題	「天龍峡再生プログラム・プロジェクト」、「名勝天龍峡整備計画」に記された行政の役割を果たすため、今後についても市の関与する程度は適切である。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を発揮するために、行政はどのような働きかけをしてきましたか、又は、配慮してきましたか	4年間の振り返り	①地域産業活用賑わい創出事業については、地域住民主体による天龍峡観光再生実行委員会が実行組織を担っている。 ②市は事務局として事業遂行のための事務を行っている。		
	後期に向けた課題	今後についてもこれまでの役割分担により、事業を行っていく。		
全体を通じて	4年間の振り返り	天龍峡が最も元気であった百年前への回帰を目指す「天龍峡再生プログラム・プロジェクト」、名勝天龍峡の適切な保護を目指す「名勝天龍峡整備計画」に基づき、天龍峡の魅力を高めるための整備事業を行った。		
	後期に向けた課題	2つの計画に基づいた整備事業を、適切に実施していく必要がある。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要がありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要がありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------